



滋賀短期大学 学 報

2015. 6. 1

No. 77

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



温かく向き合える力を身につけよう

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



今年度の入学式は、4月2日に本学の体育館で行われました。正門横の大きな桜が花開くなか、まさに春爛漫のよき日に、男子学生40名を含む348名の新入生を迎えています。本学は昭和45年に滋賀女子短期大学としてスタートしましたので、本年でもって45年目を迎えるに至っています。また、男女共学の短期大学に移行して8年目に入ります。創立以来、「心技一如」の建学の精神のもと、人格教育と実学教育を両輪とする教育を推し進め、教養教育をベースに実践的な専門の知識と技術を身につけた、人間性豊かな社会人の育成に力を注いでいます。その過程では教育の質的改善というまでもなく、学生への支援、とりわけ就職支援の強化を図りながら、教育研究を通して地域との連携を進めています。

ところで、新たな学びに向けて心に留めてほしいことがあります。入学式でふれたことでもありますが、それは温かく向き合える力についてです。このことを考えるきっかけは、私が師と仰ぐ方との関わりにあります。その方は、天台宗の大僧正である堀澤祖門さんです。50年近く前になりますが、比叡山の釈迦堂で12年籠山行の修行僧としておられた折にお出会いし、それがご縁で今日に至っています。現在は、京都市の大原にある三千院の門主に就いておられます。その三千院からの会報に接し、考えさせられていたことでもあります。

私たちにとって大切なことは何かについて、人生には「3つの大事」があり、「正しく生きること」、「心温かく生きること」、「大きく生きること」をあげておられます。この「3つの大事」の中では、「心温かく生きること」が人間として一番大切であると語っておられます。私たちは、学んでいく過程、仕事をしていく過程、遊ぶ過程も含めてですが、生涯にわたって人との関わりのなかで生きていきます。言い換えれば、そこで関わる人たちと向き合える力が不可欠となります。この人との関わりについてですが、私たちは会話を通してその温かさを脳内の温度計でもって推し量っています。左の脳で言葉を行き来させながら、右の脳ではその言葉の周辺の様子を観察しています。声の質、大きさ、響きなど、それに加えて表情や仕草などを読み取っています。そのやりとりを通して、「温かい人」とか、「冷たい人」とか、温度評価を

していることになります。時には、その冷たさには「とげがある」といったりして、痛みを推し量る痛覚計を働かせることもあります。

冷たい人というのは、自己中心的な気持ちが強いために、狭い範囲でしか見えなくなり、相手への思いやりがなかったり、周りへの配慮ができなかったりして、しばしば不快感を与えます。この自己中心的な見方が心を狭くし、心を小さくし、そのことが心の冷たさをもたらすことになります。これに反して、大きい心の人は自分の立ち位置から先を見通すとともに、周りを見渡すことができ、その見方が広がっています。その結果、いろいろな立場の人たちを理解し、いろいろな考え方を受けとめられるようになります。心の大きさは、他人をどれだけその心に容れられるかの度合いにかかっているといわれ、心の温かさと本質的に同じでないかと説いておられます。つまり、心の温かさとは、他人をどれだけ受けとめられるかという度合いにあるということです。

そうしますと、心の温かさは、自分自身から家族へ、家族から市や町へ、市や町から県全体へ、県から国へ、国から世界へと、段階的に広く見渡して考えられることであり、いろいろな人たちと向き合えることを指しています。具体的には、広い視野のもとに、温かく聴き取れる力であり、温かく話せる力ということになります。この温かさを感じる度合いは、それぞれが持っている温度計の感度によって左右されています。そういう意味では、身近なところの会話を通して、その声に秘められている物理的要素の変化や、思いとなる熱意、そして表情や仕草など、空間的に捉える力を高めることがとても大切なことになります。この空間的に推し量れる力は、いろいろな人たちと向き合うことによってこそ、身につけることができるのです。

ここ数年来のことですが、携帯電話やスマートフォンが普及し、こういった道具に若い人たちが依存しがちな状況を垣間見ますと、真に向き合える力が身につけられないのではないかと危惧しています。そういったことから、ここ大津のキャンパスでは道具と向き合う時間を最小限にし、教職員とは、そして友だちとは、できるだけ面と向き合って学ぶ習慣を身につけ、推し量る温度計の感度を引き上げてほしいと願っています。ここでいう温かく向き合える力は、建学の精神である「心技一如」の心につながることであり、将来に向けての人となりを支える大切さがあることを心に留めていただくよう念じています。

平成27年度 入学式

幼児教育保育学科 准教授 柚木 たまみ

桜が満開となった暖かな陽気のもと、平成27年度入学式が、生活学科81名、幼児教育保育学科171名、ビジネスコミュニケーション学科96名の新生を迎え、4月2日(木)に本学体育館にて行なわれました。

生活学科の藤原遙さんの入学宣誓の後、佐藤尚武学長は、式辞で、本学の建学精神である「心技一如」にふれ、特に「心」について、「人生の三つの大切なこと、それは一、正しく生きること 二、心温かく生きること 三、大きく生

きること である。特に心温かく生きる上で、人の心の温かさを推し量る温度計は「挨拶」であり、挨拶に始まる人と人との関わりにより、私たちは、「感性」すなわち「心」を高

めていく。時代の要請に応じた実学教育である短大での学び、「技」は、いろいろな人と向き合うことにより「心」とともに育っていく」と語られました。

学生生活への期待に胸を膨らませ、348名の新生の皆さんは、「心技」相備わった立派な社会人となるべくスタートを切りました。皆さんの学生生活を心から応援いたします。



平成27年度 フレッシュマンセミナー

学生支援委員 特任教授 清水 たま子

春爛漫の4月4日(土)に、大津プリンスホテルで恒例のフレッシュマンセミナーが行われました。佐藤学長のお話は、新生を包み込む優しさに満ちたものでした。朝食がとれなかったときはバナナを1本しのばせて授業の前にこっそり食べると、脳が活性化するというお話と、睡眠は日中に損傷した組織の修復とともに活動したことを整理し記憶させるので、眠れば眠るほど賢くなるという話に加えて、話題の選挙権の年齢の引き下げについて、自分で考え、判断し、行動する、責任のとれる社会の一員に求められるもので、好ましいことであるとの見解も述べられました。

その後、吉浪壽見能楽師によるご講演「能へのいざない～心より心に伝わる花～」では、仕舞から始まり、謡が披露さ

れ、その途中では学生が面をつけてもらい所作を演じる場面もありました。

学歌の練習の後は、淡海ホールでの会食・交流会でした。総料理長からメニューについての説明を受け、本学に非常勤講師として来られている料飲支配人の角田秀人先生にテーブルマナーについて解説をしていただきました。フランス料理のフルコースをいただいた後は、学科別オリエンテーションに入り、16時まで、それぞれの学科企画を教職員とともに楽しみました。



役職教員あいさつ



知識という武器

教務部長 木谷 康子

新入生の皆さん、2回生の皆さん、ご入学・ご進級おめでとうございます。新しい1年が始まるこの時期に、これまで小・中・高等学校で教育を受けてきたこと、そして今短大で学んでいるということについて少し考えてみませんか。

学校で勉強することは皆さんにとっては「あたり前」のこと、ではないでしょうか。けれども、世界では約5,700万人の子どもたちが学校に通えません。それは近くに学校がない、あっても先生がいない、家計が苦しい、保護者が勉強より労働を優先させる等々、日本では考えられないような理由です。また、約7億7,400万人の大人が読み書きができません。

では、教育を受けられないこと、読み書きができないことがなぜ問題なのでしょう。それは、

教育を受けられないことで、読み書きや計算ができないまま育ってしまい、仕事に就けず、収入が少ない状態が続いてしまい、さらには本人や子どもが教育を受けられなくなる…という悪循環が続く、こういう負の連鎖を招くことになるからです。

昨年史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんはスピーチの中で教育の大切さを「知識という武器」という言葉で表現しています。皆さんは今短大で、卒業後専門職として働き続けるための「武器」を身につけるチャンスを与えられているのです。

2年間は長いようであつという間です。授業では知識や技術を学ぶとともに、学ぶ姿勢を身につけて、生涯、自分自身の「武器」のレベルアップを心がけてほしいと思います。



未来に向けての一步

学生部長 山本 剛史

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学して約2か月が経とうとしています。短大生活には慣れましたか？短期大学の2年間は社会に出ていく一步手前の時期になります。

また皆さんはこの2年間の間に、ほとんどの人が成人式を迎え正真正銘の“大人”の仲間入りとなるわけです。つまり皆さんは短大の2年間で社会人になる準備をしていく事になります。

そこで「この2年間でどのように過ごすか？」ということが皆さんの将来を左右するといっても過言ではありません。ぜひ皆さん自身の“未来に向けての一步”をふみだしてほしいです。

それは専門知識や教養を身につける事、就職に向けての準備、クラブやサークル、ボランティア

活動、友達をたくさん作って楽しい時間を過ごす事、何でも構わないと思います。何事も受け身ではなく自分からアクションを起こしていく事だと思います。最初は少しためらいがあったり、躊躇をする事もあるかもしれませんが。でもその時に自分の中で少しの勇気をもって思い切って行動する事です。どんな小さな事でもいいんです。その積み重ねが自分自身の未来を切り開いていく事に繋がっていくと思います。

あなたの周りには必ずあなたを支えてくれたり、助けてくれる人が現れるはず。何かに向かってチャレンジ、努力する姿は輝かしいものです。

私たちも誠心誠意サポートしていきたいと考えています。

役職教員あいさつ



技術の「技能化」、知識を「智慧」に

学生募集部長 山中 博史

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ある統計によりますと、高校生が高等教育機関に進学する率は73%、その内、4年制大学進学者が41%、専門学校進学者が23%、短期大学進学者は8%未満になっております。こうした状況の中、滋賀短期大学を選択して、入学された皆さんに改めてお礼申し上げます。

大学と専門学校の大きな違いの一つとして「共通科目」が設けられていることを挙げるができます。短期大学では共通科目を12単位、専門科目を50単位以上取得しなければ卒業できません。しかしながら、専門学校では、専門科目しか設けられていません。

共通科目とは、教養を身につけるためのものです。企業の求める人材として、一番は熱意、二番は健康、そして三番は教養のある人というデータもみられます。

では、ここで挙げた「教養」とは具体的にはどのようなことでしょうか。それは、学問の礎とは何かという問題の指針となるものであり、社会人としてコミュニケーション能力を身につけるため

には、どうしても必要なものと私は考えています。

小学校から高校まで学んできた授業「英・国・数・社・理・音・美・体」を知識とすれば、教養とは「智慧」と言い換えることができるかもしれません。知識とは単に事柄について知っていることであり、「智慧」とは、深い見識、物事を理解し適切に処理する能力ともいうことができます。知識はもちろん大切ですが、それだけで十分ではなく、大切なのは、それを活かすことです。

どんなスポーツ種目でも、技術は必要です。しかし、いくら技術を知っていても、プレーをすることはできません。技術が「技能化」して、はじめてプレーができるのです。技術を「技能化」するには、反復練習が必要なのです。

「技術」を「知識」とすれば、「技能化」は「智慧」ではないでしょうか。

今まで学んできたことを「教養」として、滋賀短期大学でしっかりと身につけ、社会で求められる人材となるべく、成長されることを深甚より願っております。



知の扉への慇懃 — 淡海文化の彩を感じるために —

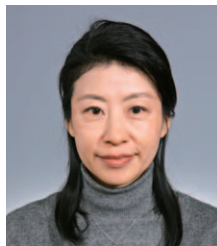
図書館長 柿木 重宣

図書館とは、単に蔵書の機能を有するのではなく、書を読む人のためにある。新入生諸君は、8万4千余の書の中から、ぜひ自らの生涯の友といえる作品を見つけ、書の真髄を心底から感じてほしい。上代、中古、中世、近世、近代、現代に至るまで、近江の文学作品は、常にその中心的舞台であった。私は、そうした近江（淡海）に所縁のある作品を読んでほしいと考えている。私事で恐縮であるが、昨秋、日本ペンクラブの京都例会が催された折、作家浅田次郎氏と親しく話す機会があった。彦根藩を舞台にした『柘榴坂の仇討』という作品が映画化された直後のことであった。昨年の学報では、近江をこよなく愛し、知己のあった司馬遼太郎先生を取り上げたが、二人の作品像の共通項を見つけるとすれば、近江とそこに息づ

く人々に対する温かな眼差しといえるであろうか。

ここで、本学独自の「美しい日本語コンクール」においてもふれておきたい。毎年、エッセイ、読み聞かせ、朗読という三位一体型の全学的取組として開催され、エッセイ部門では、近江文化に纏わる作品を提出してもらっている。このような機会を通して、色々な読書経験が作品の創造へとつながることに気づいてもらえることを期待している。4月から、図書館は新体制となり、あらゆる機能がさらに充実する。皆さんをきっと読書の道へと慇懃してくれるものと信じ、一人ひとりの学生が少しでも、在学中に多くの作品に出会うことを願ってやまない。知の扉はいつでもあなた方のために開かれているのだから。

学 科 長 あ い さ つ



生活者の視点を持つプロフェッショナルに

生活学科長 中平 真由巳

今、時代は健康で快適、真に豊かな生活を求めています。生活学科では、生活学を『生活者の視点』に立って多角的、総合的に探求しています。生活学の各分野には「食健康コース」、「製菓マイスターコース」、「生活クリエイティブコース」を設置し、理論に基づく実習・実験・演習より構成したカリキュラムを提供し実践力を養っています。各コースでは、中学校教諭免許をはじめ栄養士、栄養教諭、製菓衛生師、フードスペシャリストなどの専門性の高い資格が取得できます。何れの免許・資格も私たちの毎日の生活と深く結びついており、「食べる」、「住む」、「着る」という側面から人々の暮らしや文化、健康を支える要となります。

当学科では、“地域に根ざす”というコンセプトを生活学に取り入れて、社会との結びつきを大切にしています。食健康コースでは、滋賀県に残る郷土料理の教材化と継承に力を入れ、地域と連携して伝統

食が提供できる栄養士を育成しています。また製菓マイスターコースでは、地元企業と連携し、社会が求める人材の創出に向けた教育プログラムを通じてクリエイティブな製菓衛生師の育成に取り組んでいます。

豊かな生活の実現に向け、本学科の学生にはサイエンスと生活文化の融合に基づく発想力・創造力・センスを身につけていただきたいと思います。その実現には、専門性を向上させることが重要ですが、自分で課題を発見して挑む姿勢、必要な技術を身につけて実践に移し最後までやりぬく精神力、共に生きる者としての思いやりがベースになります。わたしたち教員も全力で皆さんの支援をしたいと考えています。本学での学びの機会を存分に活かし、社会に貢献できるプロフェッショナルの基礎を一緒に築いていきましょう。



平成27年度学科長就任に当たりご挨拶

幼児教育保育学科長 越智 純子

平成27年度幼児教育保育学科学科長を務めさせていただきます。今まで本学科は、創設間もないころから本学で長い教育歴を重ねられ、幼児教育・保育に関する深い見識を持った学科長、諸先生方に支えられてまいりました。平成26年度卒業生が第44期となる長い歴史の中で、それらの先生方が定年を迎えられたり、新たな研究・研鑽をつまれる時期となり、私のような未熟なものが学科長という重い職責につくことに身の引き締まる思いがいたします。

子育て支援の新たな施策が打ち出されていますが、乳幼児期という人としての「根元」を作る時期に携

わる幼稚園教諭や保育士の果たす役割は、施策の変化に関わらず普遍的で重要であることは言うまでもありません。さらに、昨今の社会事情を考えると、子どもに対してのみならず、保護者や社会にも目を向けていくという、幅広い知識や人間性を要求される職業でもあります。

2年間という短い時期に学べるものは限られています。基本的な知識や技能の習得だけでなく、「就職してから学び続ける」という姿勢を学生たちが持つような教育が行えるよう努力したいと考えています。



理解し、身につけ、実践する

副学科長／ビジネスコミュニケーション学科長 小山内 幸治

経済産業省は、2006年から、学生が身につけるべき能力として、「社会人基礎力」を提唱しています。それには、社会人として「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」の重要性が述べられています。企業やみなさんを取り巻く環境の変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきたということです。提唱されてから10年近くたちますが、この内容はいまでも説得力をもっています。

これを意識して、ビジネスコミュニケーション学科では、ビジネスで利用する計算や英語、国語の基礎を学ぶ「ビジネス基礎」、社会に出てから必要とされる数的能力と一般常識を身につける「教養基礎Ⅰ」、その集大成として、社会人としてのコミュニケーション

の実践について学ぶ「教養基礎Ⅱ」を専門科目として設置しています。学生からは、実際に役立つ授業として、一定の評価を得ているようです。今年度は、いくつかの科目で、大学で学んだことを、実践に結び付けるためのスキル修得を目的とした授業も計画されています。

みなさんには、知識やスキルを単に記憶するだけでなく、理由を理解し、ほんとうの意味で身につけ、それを実践することのできる人になってほしいと思っています。ビジネスコミュニケーション学科の教員は丸となって、皆さんが「社会人基礎力」の備わった、企業や社会で必要とされる人間になれるように教育的な支援をしていきたいと考えています。これから卒業まで、目標に向かって、一緒に頑張っていきたいと思います。

新入職員あいさつ



「勉強」で自分の枠組みを広げてみませんか？

生活学科 特任教授 原 知子

満開の桜に迎えられた、と思いきや、すっかり夏になりました。あっという間の学生時代、具体的な目標をもって勉強が進んでいますか？ 勉強という言葉には「ちょっと無理をする」という意味があるそうです。時を重ねると、しんどい思い出はかえって美しくなる傾向があります。青春まっただ中で、生涯決して忘れ

られない「勉強」が沢山出来るといいですね。失敗さえもきらきらした思い出になって、視野や守備範囲が広がるのではないのでしょうか。

教員は皆さんの人生の応援団だと考えています。解決できる事ばかりではありませんが悩みや意見を是非ぶつけてみて下さい。一緒に勉強しましょう。



同じ人間として生きる

幼児教育保育学科 特任准教授 紙屋 信義

この4月からご縁がありまして幼児教育保育学科の音楽を担当することとなりました。滋賀県との関わりは15年ぐらい前に約5年間、東京から通いで「安土文芸セミナー」のパイプオルガン市民講座で教えておりました。約20年近く東京の大学で勤めておりましたが、親の介護のため昨年度は九州の実家に帰省し、ハウステンボスでの演奏の仕事や地元の障がい者福祉施設で働いておりました。その施設のモットーである「あなたと共に歩きたい、あなたと共に生きていたい、あなたと共に育って行きたい、ただ人として、同じ人間として」は、教育の世界でも共通するものを感じております。皆様と共にまい進する所存ですので今後ともよろしくお願いいたします。

設で働いておりました。その施設のモットーである「あなたと共に歩きたい、あなたと共に生きていたい、あなたと共に育って行きたい、ただ人として、同じ人間として」は、教育の世界でも共通するものを感じております。皆様と共にまい進する所存ですので今後ともよろしくお願いいたします。



学びを通してたくさんの経験を

生活学科 特任講師 木村 和美

今年の4月1日から生活学科の特任講師として滋賀短期大学に着任いたしました。主に「教育原理」や「教師論」などの教員免許状の取得に必要な授業を担当しています。

皆さんは、滋賀短期大学の学生としてさまざまなことを学び、さまざまな人と出会い、たくさんの貴重な

経験をしていると思います。学生生活のなかで得た経験は、皆さんの今後の人生を豊かなものへと導いてくれるでしょう。皆さんが充実した学生生活を送ることができるようお手伝いができたらと思っています。これからどうかよろしくお願いいたします。



「夢」に向かって進もう!!

幼児教育保育学科 特任講師 李 霞

在学生の皆さん、初めまして。そして新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2001年に交換留学生として初めて滋賀の地に足を踏み入れた時、澄みとおった琵琶湖の雄大な景色に感動したことを今でも鮮明に覚えています。あれから14年も経ちました。滋賀は私にとって心を落ち着かせる故郷になっています。今年より琵琶湖を一望できる滋賀短期大学でお仕事をできること、そしてみなさんに出

会えたことを心より感謝しています。これから皆さんと一緒に過ごせる毎日がとても楽しみです。私は幼児教育保育学科で主に「教育原理」、「教育の方法及び技術」などの教職科目や、教育実習に関連する科目を担当しています。「心技一如」の建学精神をモットーに、今後皆さんにとって頼れる先生になるよう、自己研鑽に励み、皆さんとともに成長していきたいと思っています。



一緒に成長しましょう

ビジネスコミュニケーション学科 特任助教 久保 覚司

今年度からビジネスコミュニケーション学科でお世話になることになりました。医療事務・医療秘書関連（医療保険事務Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、電子カルテ演習）の科目を担当させていただきます。

医療事務は一般事務と比べて特殊です。病名や医学

用語など、普段聞きなれない言葉も多く、とっつきにくいかもしれません。ですが今苦勞して学んだことは一生役立つことです。皆さんに医療事務の楽しさを伝えられるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

学生自治会

学生自治会 会長 井上 拓海

学生自治会執行部は、私たち学生が有意義な学園生活を送ることができるよう様々な活動を行っています。

6月に行われる体育大会は、新入生が2回生と教職員との親睦を深める為に、学生と教員が一丸となって、様々な競技を行います。11月に開催する純美禮祭（学園祭）は、ステージイベントや模擬店をはじめ、課外活動団体による展示なども行われます。学生の皆さんに心から学校行事を楽しんでもらえるように、日々何度も会議や打ち合わせを行っています。

また、滋賀短期大学では年に2回、リーダーズトレーニングと呼ばれる、短大生活をより良いものにするための話し合いの場を設けています。このリーダーズトレーニングでは、執行部や各ゼミ、クラブ、サークル代表者、教職員など様々な立場の人が集まり、テーマ毎に、グループに分かれて意見や希望を出し合います。

このほかにも、5月から12月にかけて環びわ湖大学・地域

コンソーシアムの沖島活性化プロジェクトにも参加し、県内の他大学との交流も行っています。

学校行事の企画・運営などの責任のある仕事も多いですが、その中で執行部一人一人がやりがいを見つけ、頑張っています。皆さんも私たちと一緒に滋賀短期大学を盛り上げていきませんか。



図書館だより

図書館スタッフ一同

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから始まる2年間の大学生活において、図書館を利用される機会が多くあると思います。本学には生活学科、幼児教育保育学科、ビジネスコミュニケーション学科の3学科がありますが、高校の図書室と大学の図書館が大きく異なる点は、この3学科に関する専門的な図書や参考書、学術雑誌が蔵書の大半を占めていることではないでしょうか。

今後、授業の課題や教育実習で使用する資料を探すのはもちろん、授業で分からないことや困ったことが生じた場合も図書館へ訪れてみて下さい。図書館は「学び」の場であり「出会い」の場でもあります。きっと皆さんのお役に立てる本と出会えるはずです。最後に皆さんへお薦めの本を紹介させて頂きます。

①『日本語再履修』柿木重宜著 ナカニシヤ出版

本学の図書館長、柿木重宜教授の著書です。日本語学や言語学の基礎的知識を100の練習問題を通して楽しみながら学び、知識を深める



①



②



③

ことが出来ます。皆さんも授業で活用する他、「日本語」を改めて学んでみませんか。

②『キャベツくん』長 新太著 文研出版

子どもたちに大人気のシリーズです。繰り返しの楽しさが詰まった、読み聞かせに最適の絵本です。

③『サラバ!』西加奈子著 小学館

第152回直木賞を受賞した作品。主人公の壮絶な人生を圧倒的なスケールで描いています。現代社会に生きる人々に手にとってもらいたい1冊です。

同窓会だより

新入会員のお知らせ

●平成27年度新入会員

生活学科	69名
幼児教育保育学科	162名
ビジネスコミュニケーション学科	85名
計	316名

●年次評議員

生活学科	：服部聖羅さん、中西孝輔さん
幼児教育保育学科	：小林加奈さん、水本有紀さん
ビジネスコミュニケーション学科	：斎藤憲汰さん、吉永琴美さん

●評議員 水本有紀さん

平成27年度同窓会総会・懇談会のご案内

例年7月に開催していましたが、会場の都合で、9月に開催します。

総会の後に、生活学科製菓マイスターコースの金丸政義先生にご指導をいただき、製菓実習を行います。みなさん

でお菓子作りの楽しさを体験しましょう。ご参加をお待ちしております。

○日時：平成27年9月6日(日)

9：00～	受付（玄関ホール）
9：30～	総会
10：00～	お菓子作り（111教室）
12：30～	懇談会（本学第一会議室）

○持参品：エプロン・三角巾・上履き

○会費：1000円（当日受付にて徴収します）

○申し込み方法：次の①または②どちらかにてお申し込みください。

①6月上旬頃送付する総会案内状同封のハガキで申し込む。

②下記宛にFAXで送信する。

会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、同窓会事務局077-523-5124に送信してください。

○申込み締切日：平成27年8月20日(木)

平成26年度 就職状況について

学生支援課 課長補佐 大伴 嘉彦

平成26年度の就職で一番感じたことは、就職活動の出足が遅いという印象であったと思います。

学生支援課は、「キャリア基礎演習」、「キャリアデザイン演習」の関係で、「就職ガイダンス」「就職支援講座」が1回生後期8回、2回生前期8回の支援で、必然と開催日程は決定されているが、開催時期と内容が検証されていないのが、学生の就職活動を鈍らせる要因であると考えています。今後は、学生の就職に対する意識の向上、活動方法もガイダンスを通して指導し、早い時期からの活動を促し、就職のチャンスを逃さない手立てが必要と考え、タイムリーな支援を実行したいと思います。また、卒業生316名の学生に対して、就職希望者が272名（対卒業生△44）、就職内定者が265人（対就職希望者△7）、就職内定率が97.4%。結果的には、高い就職内定率になっているが、44名の学生が就職希望せず卒業のみの結果で終わっています。

今後は、そういった学生を少しでも少なくするために、ゼミ担当の先生方にもご協力頂き、学生の就職状況を共有し、学生支援を実施していきたい。学生支援課としては、今後、常に前向きに学生と正面から向き合い、「これでいいのか」「なぜこれでなければならないのか」を考え、就職環境にあった支援を続けたいと考えています。

学生諸君も長い人生の中で、滋賀短期大学で過ごす学生生活は、たった2年間です。その短い時間の中で、学修、資格取得、研究活動、課外活動、ボランティア活動、友達付き合い、と様々な経験を重ねると思います。楽しいこと、嬉しいこと、辛いことがたくさんあると思います。一步、一步前進する気持ちは忘れないでください。しかし、一步が進まなければ、休むことも同時に忘れないでください。皆さんの夢がかなうよう、学生支援課は支援を続ける決意です。

資格取得状況

●生活学科

中学校教諭二種免許状（家庭）	3名
フードスペシャリスト	8名
製菓衛生師受験資格	27名
栄養士	26名
栄養教諭二種免許状	3名

●幼児教育保育学科

幼稚園教諭二種免許状	145名
保育士	132名
児童厚生員	2名

●ビジネスコミュニケーション学科

上級秘書士	7名
上級情報処理士	3名
秘書士	56名
秘書士（メディカル秘書）	41名
日本医師会医療秘書合格	19名
情報処理士	60名
レクリエーション・インストラクター	7名
ウェブデザイン実務士	7名

第44回卒業証書・学位記授与式

幼児教育保育学科 准教授 柚木 たまみ

小春日和のもと、第44回滋賀短期大学卒業証書・学位記授与式が、3月13日(金)に本学体育館にて執り行われました。

晴れて学び舎を巣立ったのは生活学科69名、幼児教育保育学科162名、ビジネスコミュニケーション学科85名。

佐藤尚武学長は、式辞で、社会に飛び立つ卒業生に向けて「社会がどんなに変化しようと、人の「生き方」は変わることがない。我々は、多くの支えによって仕事をし、生きている。挨拶ができる、仲良く仲間外れをしない、嘘をつかない、間違ったら素直に謝る、という四つの基本原理・原則を大切に、“こういう〇〇になりたい”という大きな想いを抱いていってほしい。最も必要なもの、それは生きるエネルギーである。何度となく壁にぶち当たったかもしれないが、《それでもなお》前へ進もう」という熱いメッセージを贈りました。



佐藤学長の好きな言葉という《それでもなお》は、卒業生一人一人の胸に深く刻まれたのではないのでしょうか。

そして、卒業生を代表して生活学科の石田帆南さんが、在学中の思い出とともに教職員、保護者、学友に向けて謝辞を述べました。

続いて、学長賞の授与、免許状・資格証明書・認定証の交付、同窓会入会式が行われました。

午後からは場所を琵琶湖ホテルに移して卒業記念パーティーが開催され、参加者全員が、思い出深く、名残惜しい一日を過ごしました。



卒業記念パーティー

学生自治会 副会長 畑野 愛香 学生自治会 副会長 吉門 優希

3月13日(金)、琵琶湖ホテルにて卒業記念パーティーが行われました。学生自治会執行部が新体制になってから初めて主催する行事ということもあり、上手くできるかどうか不安や緊張でいっぱいでしたが、井上会長を中心にホテルの方と綿密な打ち合わせを行った結果、予定通りに進行することができました。

パーティーでの先輩方はみんなとの写真撮影や、先生方との会話を楽しんでいた様子でした。中でもカラオケ大会は、たくさんの先輩方に参加していただき大盛

況となりました。全ての進行がうまく出来たわけではありませんが、先輩方の最後の思い出づくりをお手伝い出来たことをとても嬉しく思います。

先輩方と過ごしたのは1年という短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。春からは会えなくなると（とても）寂しい気持ちでいっぱいです。卒業されても身体に気をつけてご活躍ください。私たちも先輩方のように立派に卒業できるよう、頑張っていきたいと思います。



退職職員あいさつ



人との新たな出会いは学びのチャンス

幼児教育保育学科 教授 奥田 恵子

人生の約半分をこの学校で過ごさせていただきました。その間いろいろな方と出会い、お世話になり、学ばせていただきました。

十人十色、人はそれぞれ自分の考えを持っています。自分に無い考えに出会った時に成長したように感じます。自分と相反する考えに出会ったとしてもそのなか

ら良い所、自分に無い部分を取り入れ、自分を高めるチャンスだという思いで受け入れていく事で人間的に成長していく事でしょう。

この短大での出会いに心より感謝申し上げます。皆様のご健勝と短大の発展を心よりお祈りいたします。



ありがとうございました

生活学科 准教授 長尾 綾子

7年前、緊張と不安でいっぱいになりながら本学の門をくぐったのを今でも覚えています。

本学以前に助手や非常勤講師の経験はありましたが、専任教員という立場は全く違い、力不足を感じる毎日でした。初めてで戸惑うことが多く、教職員や学生の皆様に助けていただき、どうにか務めることができました

した。本当にありがとうございました。本学で自身が学ばせていただいたことで、少しは人として成長出来たかしらと考えるばかりです。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を、そして、滋賀短期大学のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



短い間でしたが、御世話になりました

幼児教育保育学科 准教授 土屋 靖明

短い間でしたが、お世話になりました。前任校では、野球部、サッカー部、ラグビー部など運動部の学生のゼミ担任や授業を受け持つことが多かったのですが、本学で初めて、幼児教育保育学科の教員を務めることになりました。

純美禮祭などを通じて、学生の皆さんとの距離が近

くなったように感じ、保育者を志望する学生の様相について、よく理解できるようになったと思われました。

転出とはなってしまいますが、こうして出逢えたご縁をこれからも大切にしていきたいと考えている次第でもあります。



感謝

ビジネスコミュニケーション学科 講師 片山 友子

本学に勤務するようになりましてから7年の月日が経ちました。

琵琶湖を見渡せる研究室から快晴の日、雨に煙る日、雪に覆われた日、いろいろな表情を見せてくれる景色を眺めながら、日々いろいろな思いを抱きながら過ごしてきました。天候と同じで、心が晴れる日もあれば、

曇る日、雨の日もありました。そのような中、学生さん、教職員の皆さまとともに笑い、考え、悩み、学び、そして支えていただきまして、7年間過ごせましたことに感謝申し上げます。

皆さまのご健勝と滋賀短期大学のご発展を祈念いたしております。



新緑の奥にみる滋賀短期大学の思い出

生活学科 特任講師 國崎 大恩

春は出会いと別れの季節と言います。琵琶湖のほとりに咲いていた桜も今は散り、新緑に染まっている頃でしょう。私が滋賀短期大学に赴任してきたのは、ちょうど1年前の桜吹雪が舞う時でした。桜舞う竜が丘から琵琶湖の景色を緊張しながら眺めていたのを今でも覚えています。

1年間という短い期間ではありましたが、滋賀短期

大学の皆さまには大変お世話になりました。勇み足をしてしまう私を温かくフォローしてくださるなど、皆さまのおかげで私は様々な経験をさせていただきました。

空を見上げれば、頭上には桜ではなく新緑の葉が風に揺られています。竜が丘から琵琶湖を眺める風景を、私は違うこの土地から新緑の向こう側に見ています。

入試情報

平成28年度入学試験のお知らせ

入学試験の主な変更点

- ①生活学科「生活クリエイティブコース」を、「ライフデザインコース」に名称変更します。
- ②ビジネスコミュニケーション学科「流通・ロジスティクスコース」を廃止し「地域ビジネスコース」を新設します。
- ③公募制推薦入試「前期・後期」を、「前期・中期・後期〈S方式〉」に変更します。
- ④大学入試センター試験利用入試の科目を一部変更します。出願にあたっては、大学案内、募集要項等で必ず確認してください。



A O 入 試 (事前面談)			
区 分	I 期	II 期	III 期
受 付 期 間	7月6日(月)～7月28日(火)	8月17日(月)～8月24日(月)	8月31日(月)～9月8日(火)
面 談 日	8月3日(月)・8月4日(火) どちらか1日(受付後、通知します。)	8月28日(金)・8月29日(土) どちらか1日(受付後、通知します。)	9月13日(日)
結 果 発 表 日	8月7日(金)	9月4日(金)	9月18日(金)

※本学卒業生の子・兄弟姉妹および在学生の兄弟姉妹が申込みした場合には、通過判定時に優遇する制度があります。詳細は入試広報センターまで。

試 験 区 分	公募制推薦入試			一般入試	
	前期(専願・併願)	中期(専願・併願)	後期(専願のみ)	I 期	II 期
出 願 期 間	9月21日(月)～10月6日(火)	11月23日(月)～12月8日(火)	2月15日(月)～3月3日(木)	1月4日(月)～1月19日(火)	2月15日(月)～3月3日(木)
試 験 日	10月10日(土)	12月12日(土)	3月8日(火)	1月23日(土)	3月8日(火)
合 格 発 表 日	10月16日(金)	12月18日(金)	3月11日(金)	1月29日(金)	3月11日(金)

以上の他に、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入試、社会人特別入試等があります。平成28年度入学試験等の詳細は、大学案内・学生募集要項でご確認をお願いします。また、本学の主な奨学金制度等は次のとおりです。

純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)・・・純美禮学園(滋賀短期大学・附属高校)に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟か妹を対象に授業料の1/2を奨学金(返還義務なし)として支給します。

入学支援による入学料の奨学金支給について・・・調査書の学習成績概評がA(マルA)の者には、入学料を奨学金(返還義務なし)として支給します。

●夏のオープンキャンパス 6/13(土)、7/18(土)、8/9(日)、8/22(土)

滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。

ぜひ、受験生のお知り合いがいらっしゃいましたら、その方にもぜひお声掛けください。詳しくはHPをご覧ください。

●学校見学について

滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内など資料を配布しております。

【見学受付】

平日(9:00～16:30) 入試広報課まで直接お越しください。大学案内・願書等の資料配布、キャンパス内のご案内をいたします。

【土曜日・日曜日・祝日】

玄関でキャンパスマップ、大学案内などの資料一式を配布しております。キャンパス内は自由にご見学できます。

平成27年度入試結果【志願者高校一覧(AO入試事前面談含む)】

平成27年度の志願者総数は382人で372人の合格を発表しました。出願のあった高校は、次のとおりです。

埼玉県 川口総合 **福井県** 敦賀/美方/若狭/若狭東/武生東 **三重県** 相可/名張/名張桔梗丘/伊賀白鳳 **滋賀県** 堅田/大津/大津商業/彦根西/彦根工業/彦根翔陽/長浜/長浜北/長浜農業/長浜北星/八幡/八幡商業/八日市南/草津/栗東/野洲/水口/甲南/信楽/日野/能登川/愛知/米原/虎姫/伊香/高島/安曇川/湖南農業/河瀬/玉川/守山北/甲西/伊吹/北大津/国際情報/大津清陵/石部/滋賀短期大学附属/比叡山/近江/近江兄弟社/綾羽/滋賀学園/光泉/司学館/彦根総合

京都府 洛東/北嵯峨/向陽/木津/北桑田/綾部/西舞鶴/久美浜/東稜/日吉ヶ丘/久御山/京都文教/京都精華女子/京都橘/京都西山/洛陽総合/京都共栄学園/京都暁星/京都翔英 **大阪府** 久米田/関西大学北陽/大阪薫英女学院/長尾谷 **奈良県** 添上

和歌山県 県立田辺 **鳥取県** 米子北 **徳島県** 富岡東 **香川県** 尽誠学園 **高知県** 室戸 **福岡県** 福岡女学院 **鹿児島県** 大島

沖縄県 首里 **その他** 高卒認定試験合格/留学生

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。入試広報センター(入試広報課) TEL: 077-524-3848 メール: tnyusi@sumire.ac.jp

短期大学行事等開催状況（平成26年12月～平成27年5月）

（総務課に届け出のあったものの一部を掲載しています。：短大事務局）

12月

- 1 日(月) 大津保健所（玄関前該当啓発）
- 2 日(火) 入学試験委員会
- 4 日(木) 教授会、教学マネジメント部会、公務員試験対策講座
- 5 日(金) コミュニケーション対策講座
- 6 日(土) 公務員試験対策講座、B検ジョブパス、ITパスポート
- 7 日(日) 栄養士実力認定試験
- 10 日(水) 学園事務連絡会議
- 11 日(木) 栗東高校来学、教務委員会、高等教育開発センター会議、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会、地域連携教育研究センター会議、公務員試験対策講座、すみれがーでん
- 12 日(金) 甲南高校来学
- 13 日(土) 家庭の保育推進事業基礎研修・現任研修（主催：滋賀県保育協議会）、公務員試験対策講座、フードスペシャリスト資格認定試験
- 17 日(水) 地域移動講座in甲賀
- 18 日(木) I 回生対象入権講習会、教学マネジメント部会、企画委員会、自己点検・評価委員会、公務員試験対策講座
- 20 日(土) MOS対策講座、公務員試験対策講座
- 21 日(日) MOS対策講座
- 24 日(水) 授業冬期休業（～1/2(金)）、SD研修会（接遇研修）、自己点検・評価統括委員会、人事委員会
- 25 日(木) 幼教科会、ビジコミ科会、社会人特別入試、外国人留学生特別入試、SD研修会（接遇研修）、教学マネジメント部会
- 26 日(金) 仕事納め、生活科会

1月

- 5 日(月) 仕事始め、授業再開
- 6 日(火) 入学試験委員会
- 8 日(木) 入権委員会、教学マネジメント部会、教授会、人事委員会、教職員対象入権研修会、公務員試験対策講座
- 10 日(土) MOS対策講座、公務員講座
- 13 日(火) 教職員対象入権研修会
- 15 日(木) 人事委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、教務委員会、高等教育開発センター会議、すみれがーでん
- 17 日(土) 大学入試センター試験、MOS対策講座、公務員試験対策講座
- 18 日(日) 大学入試センター試験
- 21 日(水) 地域移動講座in野洲
- 22 日(木) 教学マネジメント部会、企画委員会、自己点検・評価委員会、公務員試験対策講座
- 24 日(土) 一般入試（I期）
- 26 日(月) 後期定期試験（～1/30(金)）
- 28 日(水) 入学試験委員会、生活科会
- 29 日(木) 臨時教授会、幼教科会、ビジコミ学科会

2月

- 1 日(日) 公務員対策講座
- 3 日(火) MOS対策講座
- 5 日(木) 教授会、人事委員会、教学マネジメント部会、危機管理委員会、高等教育開発センター学内研究会、すみれがーでん
- 6 日(金) MOS対策講座
- 9 日(月) SD研修会（接遇研修）、日商簿記検定3級対策講座
- 10 日(火) SD研修会（接遇研修）、日商簿記検定3級対策講座、入学試験委員会
- 12 日(木) 臨時教授会、広報・図書委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、教務委員会、高等教育開発センター会議、自己点検・評価第2部会、日商簿記検定3級対策講座
- 13 日(金) 日商簿記検定3級対策講座
- 17 日(火) II 回生後期成績交付、社会人特別入試
- 18 日(水) II 回生後期再試験
- 19 日(木) II 回生後期再試験、自己点検・評価委員会第5部会、教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
- 23 日(月) 反射材グッズ製作講習会
- 26 日(木) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会、3学科長会議、学科部局課長会議

3月

- 2 日(月) 教授会、入学試験委員会、P検対策講座
- 4 日(水) ピアノ未経験者のための基礎講座
- 5 日(木) 人事委員会、地域移動講座運営会議、教学マネジメント部会、広報・図書委員会
- 7 日(土) 後援会役員会
- 10 日(火) 一般入試（II期）、教務委員会、高等教育開発センター会議
- 11 日(水) 入学試験委員会、学生支援委員会
- 12 日(木) 臨時教授会、人事委員会、学生募集委員会、すみれがーでん
- 13 日(金) 卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー（琵琶湖ホテル）
- 18 日(水) 新I 回生写真撮影、学生生活オリエンテーション、ピアノ未経験者のための基礎講座
- 19 日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、生活科会、ビジコミ科会
- 23 日(月) 新II 回生成績交付・教務オリエンテーション、教務委員会
- 24 日(火) 新II 回生後期再試験
- 25 日(水) 春のオープンキャンパス
- 26 日(木) 新II 回生後期再試験、自己点検・評価委員会第5部会、入権委員会、幼教科会
- 28 日(土) 非常勤講師予定者教務説明会
- 31 日(火) 退職者辞令交付式、離任式

4月

- 1 日(水) 新任教職員辞令交付式、学生支援委員会、教授会、教務委員会、名誉教授称号授与式
- 2 日(木) 入学式、新任教職員ガイダンス
- 3 日(金) I・II オリエンテーション、II 回生健康診断、新任教職員ガイダンス、教務委員会
- 4 日(土) フレッシュマンセミナー（大津プリンスホテル）
- 6 日(月) I・II オリエンテーション、I 回生健康診断、新任教職員ガイダンス
- 7 日(火) 前期授業開始
- 9 日(木) 地域移動講座運営委員会、教務委員会、高等教育開発センター会議、教学マネジメント部会、学生支援委員会、広報・図書委員会、地域連携教育研究センター会議、学生募集委員会、すみれがーでん
- 11 日(土) 公務員試験対策講座
- 16 日(木) 教学マネジメント部会、企画委員会、自己点検・評価委員会
- 23 日(水) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会、すみれがーでん
- 28 日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 29 日(水)（昭和の日）水曜日授業

5月

- 1 日(金) クールビス（ノー上着・ノーネクタイ）（～10/31(土)まで実施）
- 6 日(水)（振替休日）月曜日指定授業
- 7 日(木) 教学マネジメント部会、教授会、すみれがーでん
- 9 日(土) 公務員試験対策講座
- 10 日(日) 創立記念日
- 14 日(木) 教務委員会、高等教育開発センター会議、学生支援委員会、広報・図書委員会、地域連携教育研究センター会議、学生募集委員会
- 15 日(金) 決算監査、附属高校実践講座
- 16 日(土) 決算監査、月曜日（幼II）指定授業
- 17 日(日) 公務員試験対策講座
- 19 日(火) 監事監査、給食経営実習食事提供
- 21 日(木) 教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
- 22 日(金) 附属高校実践講座
- 23 日(土) 火曜日（幼II）指定授業
- 26 日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 28 日(木) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会、SD委員会、事務局連絡会議
- 29 日(金) 附属高校実践講座
- 30 日(土) 水曜日（幼II）指定授業

「教員の主な研究活動・社会的活動の紹介」2014年度（2014年4月～2015年3月）

●著書

- 中平真由巳 ■（共）『新版 トータルクッキング 健康のための調理実習』
講談社サイエンティフィック 3月
- 國崎 大恩 ■（共）教員養成と研修の高度化 ジアース教育新社 7月
- 奥田 恵子 ■（共）「初級ピアノ・テクニク速習ステップス」音楽之友社 5月
- 古橋紗人子 ■（共）「保育士試験の要点と問題 2015年度版」大阪教育図書 4月

●本研究紀要第40号掲載学術論文・研究ノート(2月)サブタイトル省略

- 戸田賀志子、木谷 康子
■（共）反射材系を用いた衣服の提案と制作
- 國崎 大恩 ■（単）デューイ実験学校はいかに確立したのか
- 早川 滋人 ■（単）幼児期に策定する「個別の支援計画」の持つ可能性
- 深尾 秀一 ■（単）多文化社会における外国人学校の現状と課題
- 土屋 靖明 ■（単）トマス＝ヒューズ「トム＝ブラウンの学校生活」(1857年)にみる英国パブリックスクールにおける西洋古典教育の様相について
- 前川 頼子、森 みどり、古橋紗人子
■（共）芝生という保育環境に関する一考察
- 柿木 重宜 ■（単）藤岡勝二著『国語研究法』にみられる社会言語学に関わる言説について
- 片山 友子 ■（単）大学生の健康度・生活習慣のパターンによる分類と精神的健康度の関連性

●学術論文 サブタイトル省略

- 清水まゆみ ■（共）南米中央アンデスを中心とした地域の有用植物の科学ーキノアⅡ FFIジャーナル 11月
- 國崎 大恩 ■（共）学生の振り返りを支援する教員養成スタンダードの運用に関する一考察／鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要 2月
- 小山内幸治 ■（共）日本の金融教育と金融リテラシーの現状 証券経済学会『証券経済学会年報』第49号 7月
（共）The Analysis of Concept and Effect Factors on Financial Literacy: In Casa of University students in Japan APIEMS2014『Proceedings of the Asia Pacific Industrial Engineering & Management Systems Conference 2014』10月

●学会発表

- 佐藤 尚武 ■（共）睡眠を指導する人材の育成 日本睡眠学会 7月
- 中平真由巳 ■（共）シャロウフライの最適な揚げ条件と問題点 日本調理科学会 8月／（共）家庭用冷蔵庫のチルソ帯保存食品と保存温度に関する調査 日本調理科学会 8月
- 高橋ひとみ、中平真由巳
■（共）滋賀県の短期大学生の家庭における元日の食事と正月料理に対する学生の嗜好 日本食育学会 5月
- 木下友理子 ■（共）幼稚園児の食習慣とその要因に関する研究 日本栄養改善学会 11月
- 戸田賀志子 ■（共）ユニバーサルデザインのための色の象徴性の検討(3) 日本家政学会大会 5月／（単）反射材系によるアクセシブルデザインの提案 日本家政学会関西支部研究会 10月
- 早川 滋人 ■（単）健康と意識 第8回教育人間学会 11月

- 手良村昭子 ■（共）家庭の保育事業（保育ママ）に関する一考察 日本保育学会第67回大会 5月／（単）乳幼児の描画活動に関する一考察 日本乳幼児教育学会第24回大会 11月
- 深尾 秀一 ■（単）多文化社会における外国人学校の現状と課題 国際幼児教育学会第35回 9月
- 前川 頼子、古橋 紗人子
■（共）芝生という保育環境に関する一考察 日本保育学会第67回大会 5月／（共）保育所実習に関する一考察 全国保育士養成セミナー第53回研究大会 9月
- 柿木 重宜 ■（単）言語学者藤岡勝二の国語観 全国大学 国語教育学会 5月／（単）近・現代の日本語系統論史と藤岡勝二の言語思想について 日本語語源研究会 3月
- 江見 和明 ■（単）介護旅行サービスのコミュニティ・ビジネス的展開 日本消費経済学会 12月

Yuko Katayama

- （共）A change in lifestyle could improve mental health in college students International Health Evaluation & Promotion Association, Taipei 2014. 10

Kanazawa, Yusuke

- （単）Raddoppiamento clítico nel sardo antico La lingua e la letteratura italiana in prospettiva sincronica e diacronica (クライヨーヴァ大学、ルーマニア) 9月

●演奏会・展覧会

- 手良村昭子 ■銅版画「Good Night」他 ギャラリー吉象堂 12月
- 柚木たまみ ■「The TARO Singers 第21回定期演奏会 白鳥の歌」いずみホール（大阪）6月／「京とりこ コンサート」ぽこあぽこ（奈良）9月／「奈良県ファインアーツコンサート2014」秋篠音楽堂 9月／「The TARO Singers 第16回東京定期演奏会 白鳥の歌」トッパンホール（東京）11月／「動物の謝肉祭」京都文化博物館別館ホール 12月／「NMAグロリアコンサート2015」ホテルアジュール奈良（奈良）1月／「The TARO Singers 新春コンサート」兵庫県立芸術文化センター大ホール（兵庫）1月／「歌曲とピアノ音楽の午後」里夢（兵庫）2月
- 深尾 秀一 ■立体造形作品、①「エッ！！」②「金 ト ト」滋賀県造形集団第40回 造形展 滋賀近代美術館ギャラリー 11月

●その他の発表

- 佐藤 尚武 ■睡眠健康指導士上級講座テキスト-II 日本睡眠教育機構 8月
- 清水まゆみ ■湖国の伝統食 ふなずし JAFS NEWS LETTER 11月
- 戸田賀志子 ■《反射材エキシビジョン・2014》リフレクローズ・Sports 江戸東京博物館 9月
- 柚木たまみ ■「京とりこバリ公演」地域連携年報第2号 H27年3月
- 松木 宏史 ■（編）『あなたも一緒に、ぼちぼちと 平野学区福祉のまちづくり計画ができるまで（調査報告書）』平野学区社会福祉協議会 3月

●国際的活動

- 山本 剛史 ■West Texas University Volley ball team へのメンタルトレーニングセッション（エゴグラムを使ったコーチング）West Texas Univ 2月
- 手良村昭子 ■イタリア レッジョ・エミリア研修 北イタリア レッジョ・エミリア市 ローリス・マラグッチ国際センター

11月
 柚木たまみ ■「France－Japon Kyoto－Paris Concert de musique de chambre」 トリオユニット京とりこフランス公演 パリ・リュクサンブール改革派教会 9月
 Kanazawa, Yusuke
 ■Buchi, Éva & Schweickard, Wolfgang (dir.), (2008-): Dictionnaire Étymologique Roman (DÉRom). 編集協力者 Nancy, ATILF 2011 年 11 月から継続
 金澤 雄介 ■古サルデーニャ語文献の所蔵調査 (科研費補助金による) サッサリ歴史古文書館 (イタリア) 3月

●社会的活動

佐藤 尚武 ■第29回、第31回、睡眠健康指導士初級講座講師、ピアザ淡海 5月、神戸臨床研究情報センター1月／第8回、第9回睡眠健康指導士上級講座講師、ピアザ淡海、8月 LMJ東京研修センター、11月／第2回睡眠健康指導士上級更新講座講師、ピアザ淡海、11月／第1回、第2回、第3回、滋賀短期大学地域移動講座講師、高島市11月、甲賀市12月、野洲市1月
 中平真由巳 ■中日新聞 食文化記事 ～湖国の食事バランスガイド『実えんどうのスープ煮』～ 中日新聞 5月／滋賀県保育者協議会 H26年度調理担当者研修／「滋賀の食文化」～心と技のリレー～ 滋賀県立長寿社会福祉センター 9月／滋賀県栄養士会『食と健康展 お弁当コンテスト』審査員 滋賀県栄養士会 11月／中日新聞 食文化記事 ～湖国の食事バランスガイド～『ネギたっぷりコロッツ』 中日新聞 2月
 清水まゆみ、中平真由巳、國崎 大恩、金丸 政義
 ■近畿農政局、みらいく師範塾実践校として活動 滋賀短期大学・大津市立田上小学校 4月～3月
 高橋ひとみ ■中日新聞 食文化記事 ～湖国の食事バランスガイド～「近江ピザ」～中日新聞 9月／こども料理教室「栄養満点おやつ～健康おやつで元気な体になろう～」びわ湖こどもの国11月／中日新聞 食文化記事 ～湖国の食事バランスガイド～「ほうれん草の卵カレー」～ 中日新聞 1月
 高橋ひとみ、中平真由巳
 ■家庭の保育事業現役研修「子どもの栄養管理」滋賀短期大学 11月
 木下友理子、中平真由巳、高橋ひとみ
 ■近鉄レストラン共同開発『夏得！ゴハン』 大津サービスエリア近鉄レストラン 8月
 木下友理子、中平真由巳
 ■滋賀短期大学附属幼稚園預かり保育『クッキング教室』 滋賀短期大学調理学実習室 6、7、10、11、12月／滋賀県農政水産部水産課主催『びわ湖の魚を使った親子料理教室』野洲市コミュニティーセンタなかさと 7月／NHK大津放送局主催『いざメシ大集合in滋賀』本選出場明日都浜大津 1月
 奥田 恵子 ■滋賀短期大学公開講座「古典派といわれる時代の音楽と歴史」担当 滋賀短期大学 10月／児童文化研究クラブ「ノエルまつり」ボランティア出演及び引率 瀬田南児童クラブ 10月／附属高校フレッシュ講座担当 (2回) 附属高校 11.12月
 荻田 純久 ■洛東幼稚園キンダーカウンセラー 洛東幼稚園 5月、7月、9月、11月、1月、3月／児童厚生員等研修会講師 (「児童の発達理論」) 滋賀県立文化産業交流会館10月

早川 滋人 ■コクーンクラブ学習会「なぜなに なるほど！自閉スペクトラムなんでも相談」G-NETしが男女共同参画センター 10月／日本心理教育家族教室ネットワーク 標準版家族心理教育研修会in大阪 大阪府立精神医療センター 1月
 山本 剛史 ■日本体育学会／日本スポーツ方法学会／JBA (日本バスケットボール協会) A級コーチ／関西女子バスケットボール連盟 総務部長
 北尾 岳夫 ■滋賀県スキー連盟総務部長就任 2014/8～2016/7
 手良村昭子 ■日本保育学会 第67回大会 (近畿ブロック) 大会実行委員 大阪総合保育大学 5月／守山市美術教育研究会保育研究会 講師 守山市立守山幼稚園 10月／ICE定例セミナー 講師 「レジジョ・エミリア研修におけるワークショップの内容と創造的リサイクルセンターREMIDAの概要」内田洋行大阪支店 1月／大阪市私立保育園連盟表現研修会 講師大阪市立福島区民センター 2月
 柚木たまみ ■「H26年度滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」《幼児教育・保育における音楽の役割》滋賀短期大学 8月／「守山幼稚園園内職員研修会」《幼児の音楽活動～歌唱と合奏》守山幼稚園職員の音楽指導 守山市立守山幼稚園 (守山) 10月／京都フランス歌曲協会 企画委員 通年／日本音楽療法学会近畿支部 渉外委員 通年
 深尾 秀一 ■滋賀県多文化共生推進プラン検討懇話会 委員 2月まで／在住外国籍の子どもたちへの教育支援活動グループ「日和」事務局長 通年
 松木 宏史 ■大津市平野学区社会福祉協議会 参与 通年／吹田市地域福祉計画推進委員会 副委員長 通年／摂津市地域福祉計画推進協議会 委員 通年／大津市晴嵐学区福祉委員研修会講師 晴嵐市民センター 8月
 古橋紗人子 ■0、1、2歳児保育セミナー「乳児保育の基礎」講師 (10回) 大阪府社協指導センター 5月／野洲市子ども・子育て支援会議会長 野洲市市役所 7、12月／京都府福祉サービス等第三者評価事業審査委員 京都市 2月／滋賀大学教員免許更新講習講師 滋賀大学 8月
 安井 恵子 ■滋賀県保育協議会主催「保育士研修会」講師 滋賀県立長寿社会福祉センター 6月／東近江私立もみじ保育園職員研修会講師 東近江市立もみじ保育園 7月／滋賀県保育協議会主催「保育士マッチング大作戦フォーラム」パネラー 草津エスピアホテル 7月／長浜市教育委員会「第1回、2回、3回、保育士10年次研修会」講師 長浜市 8、9、10月
 前川 頼子 ■園内研究「子ども一人ひとりを受容し人とかかわる力が育つ保育をめざして」講師 高島市立古賀保育園 10月
 古橋紗人子、奥田 恵子、荻田 純久、中平真由巳、高橋ひとみ、安井 恵子、前川 頼子
 ■家庭の保育事業 基礎研修 滋賀短期大学 7、8、9月
 柿木 重宜 ■全国大学国語国文学会委員 フェリス女学院大学第109回 (平成26年度夏季大会) 全国大学国語国文学会委員会 5月／京都地名研究会常任理事 龍谷大学大宮学舎 京都地名研究会常任理事会 11月／日本語源学会副会長九州大学大橋キャンパス 日本語源研究会理事会 3月
 江見 和明 ■日本消費経済学会 理事 (9月まで)／日本消費経済学会 監事 (10月から)
 清水たま子 ■一般社団法人 日本秘書協会 理事 通年／日本国際秘書学会 事務局 通年

この紹介は、本人の報告書から作成いたしました。

国内研修を終えて

幼児教育保育学科 准教授 手良村 昭子

平成26年4月から、関西学院大学大学院教育学研究科での1年間の国内研修を無事に終えることができました。教職員の皆様方には、この間、色々な面でお世話になり、心より感謝申し上げます。

研修先の関西学院大学大学院では、清原知二教授の下、「乳幼児の美術教育」をテーマに日本の美術教育の歴史的背景から指導方法や幼児画の見方、理解について基礎から学び直すことが出来ました。また、オムリ慶子教授からは、イタリアの幼児教育の歴史と思想を学ぶことができ、私の研究テーマでもある「レッジョ・エミリア教育」の歴史的背景や教育思想の流れから新たな考察を試みることができました。昨年の11月にはレッジョ・エミリア教育視察研修に参加する機会が得られ、実際に現地のいくつかの幼稚園や保育所を訪問し、保育参観ができたことは今後の研究において大きな収穫となりました。

研修を終えて強く感じたことは、学問の奥深さと1つのテーマを追求することの素晴らしさと大変さです。この1年で得られた貴重な経験をもとに今後もさらに研究を続けていきたいと思っております。また、この経験を学生の学びや卒業生のリカレント教育に生かして行けるよう精一杯精進して参りたいと思っております。

今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻を頂けますようお願い申し上げます。



新刊のお知らせ「幼児教育・保育のうた 99曲マスター」



幼児教育保育学科 准教授 柚木 たまみ

保育者をめざす学生の皆さんが、必ず勉強する童謡の数々。このたび、99曲をセレクトした曲集を発行しました。難易度は抑えて、しかし効果的な伴奏とコードに編曲しました。また、子どもたちとの様々な活動のヒントを盛り込んであります。こだわりの挿入カットがまた素敵ですよ。

どうぞ、保育の現場においても、お役立ていただけると嬉しいです。

お問い合わせ：三学出版（077-525-8476）

価格：2000円＋消費税

嬉しいお知らせです

- 生活学科非常勤講師の佐野文彦先生（フードコーディネイト論）が、西洋料理の調理技術の向上に寄与されたとして、昨年度の滋賀県技能者（近江の名工）として表彰を受けられました。
- 総務課の久田隆さんが、危険度の高い仕事に従事し社会に貢献されたとして、瑞宝単光章を受章されました。

滋賀短期大学名誉教授称号授与

前幼児教育保育学科長の奥田恵子教授に、長年の功績をたたえ、本学名誉教授の称号が4月1日授与されました。

寄付報告 平成26年10月17日から平成27年4月16日までの間に、下記の方々から滋賀短期大学教育研究充実基金にご寄付を賜りました。ここに寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

稲木隆憲様・前原久雄様・奥田恵子様（順不同）

その他に、平成27年3月13日に、山中電工株式会社様から本学中庭にLED街路灯1灯のご寄贈を賜りました。感謝の意を表します。

また、平成26年度卒業生から、玄関前LED街路灯2灯と石油ストーブ3台をいただきました。

人 事 異 動

退 職 (平成27年3月31日付)		採 用 (平成27年4月1日付)		昇 任 (平成27年4月1日付)	
教 授	奥 田 恵 子	特任教授	原 知 子	准教授	江 見 和 明 (講師)
准教授	長 尾 綾 子	特任准教授	紙 屋 信 義	転 出	(平成27年4月1日付)
准教授	土 屋 靖 明	特任講師	木 村 和 美	法人本部事務局主事	高 木 則 子 (総務課主事)
講師	片 山 友 子	特任講師	李 霞	配置換え等	(平成27年4月1日付)
特任講師	國 崎 大 恩	特任助教	久 保 覚 司	総務課長補佐兼図書館室長	中 村 治 重 (総務課長補佐)
図書館係長	丸 谷 知 子	嘱託職員	安 川 真璃子	総務課総務係長	山 本 眞砂子 (学生支援課学生係長)
嘱託職員	中 井 孝 枝	嘱託職員	服 部 聖 羅	学生支援課主任	田 中 知恵子 (教務課実習係主任)
嘱託職員	松 村 智 子		(平成27年5月11日付)	教務課教務係主任	松 田 美 枝 (学生支援課就職支援係主任)
嘱託職員	上久保 歩	嘱託職員	菅 井 布 美	教務課実習係主任	酒 井 弘 子 (教務課教務係主任)
嘱託職員	瀧 本 彩 葉			地域連携教育研究センター嘱託職員	加 藤 朋 子 (総務課嘱託職員)